中部日本
戰時版

發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
同　榮區御幸本町通二ノ二四

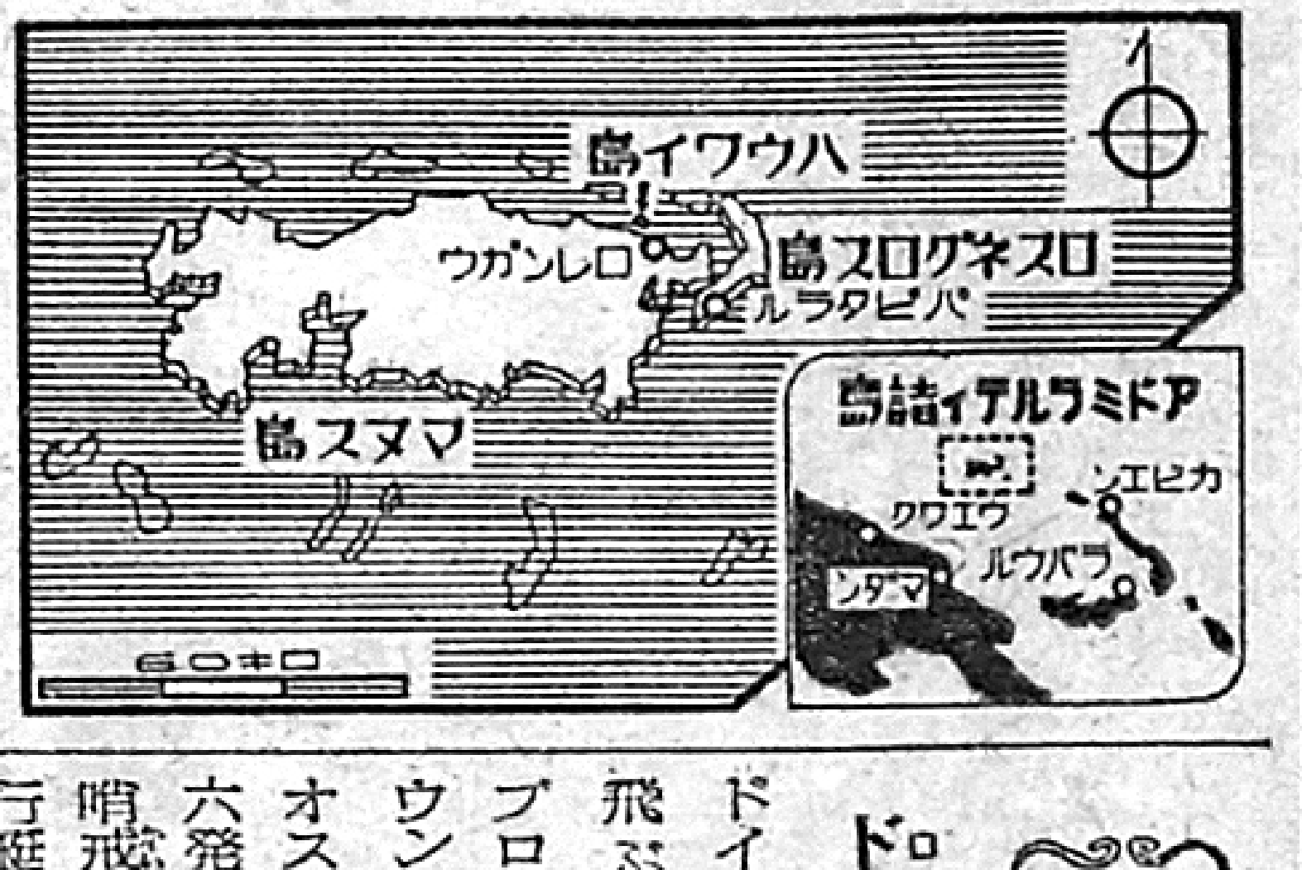
一ケ月七十錢（一部）三錢

發行人　松村解雄
編輯人　鑑山巖
印刷人　加藤登一

ハウワイ島（アドミラルティ諸島）の敵上陸軍を殲滅

海軍部隊、痛烈な邀擊戰

【ラバウル十五日發特電】十一日早朝敵は魚雷艇、上陸用舟艇各一隻をもつてアドミラルティ諸島マヌス島東端のロレンガウの北方沖約一キロのハウワイ島西岸に上陸して來たが、わが帝國海軍部隊はこれを邀擊、果敢なる戰鬪ののち殲滅せしめた



ラバウルまた百機

マーシャル諸島　執拗に來襲

【ラバウル十五日發特電】十三日午前敵コンソリデーテッドB24、ノースアメリカンB25など延百機が數回に亘りわがラバウル基地に來襲したが地上部隊はこれと交戰して擊退した、わが方の損害は輕微

【中部太平洋○○基地十五日發特電】十四日朝マーシャル諸島ヤルート島に敵ノースアメリカンB25三機が來襲、同日午後には同諸島ミレ島にB25三機が來襲、わが部隊はこれと交戰擊退した

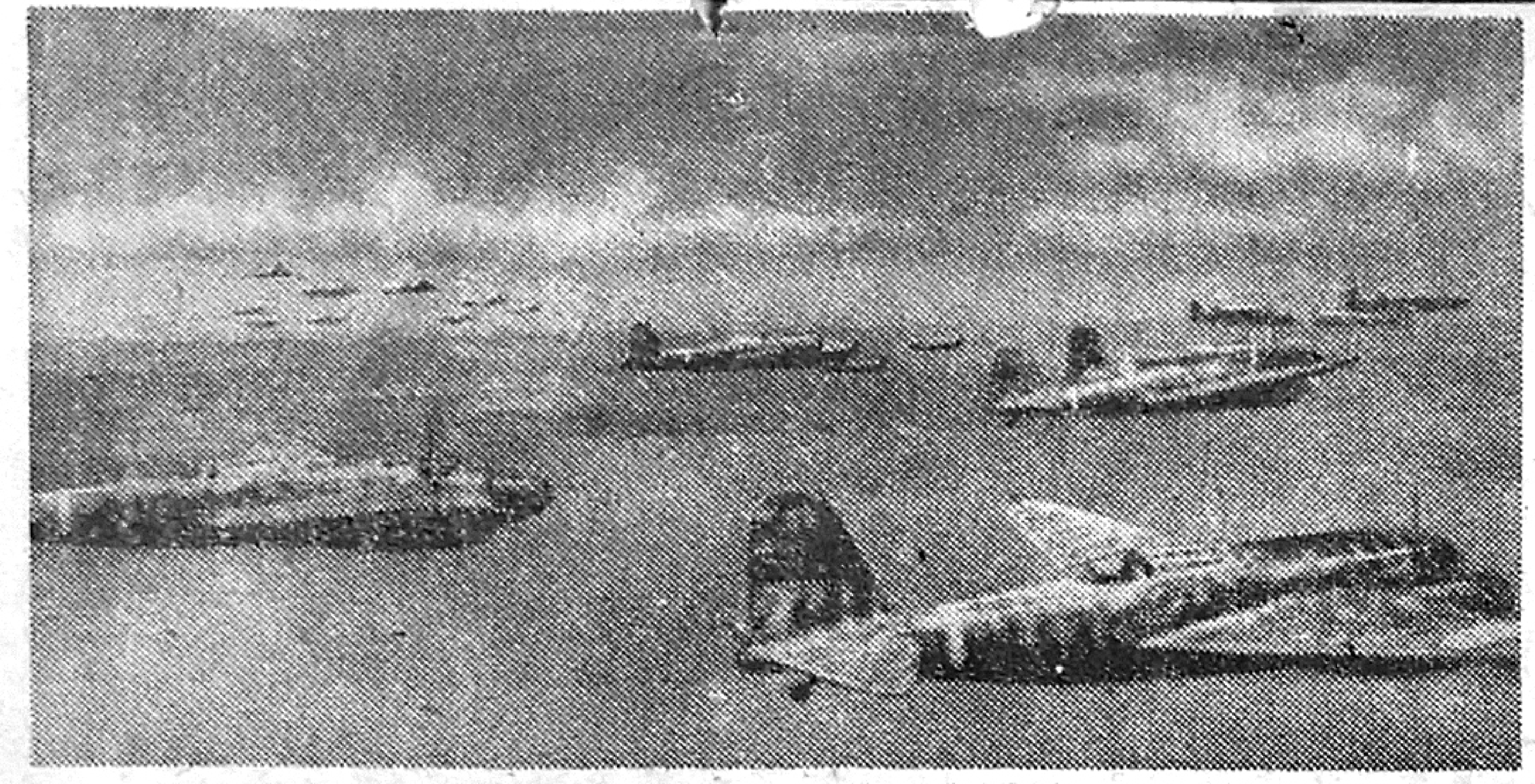
第二戰線より對日戰に全力

米議員の演說

【リスボン十四日發同盟】ワシントン來電＝米國共和黨の議員ジェッシー・サムナーは十四日下院の演說で次の通り述べた「西歐の第二戰線を延期せよ、このやうな大作戰をやる時は必ず日本に對する作戰が手ぬかりになるからだ」

米、潜艦喪失を發表

【リスボン十四日發同盟】ワシントン來電＝米海軍省は潛水艦コルヴィナ號（千五百二十五トン）を喪つたと十四日夜發表したが、これは太平洋作戰に從つてゐたといはれる



南太平洋を悠々制壓する陸鷲　小林特派員撮影＝陸軍省檢閲濟【電送】

昭和十八年お米實收高

六千二百八十八万石

豫想より卅三万石增加

〝食糧も決戰だ〟と一億が國內自給を果すため增產に努力してゐるとき、十五日農商省から昭和十八年の米實收高が發表された、全國合せて六千二百八十八万七千四十五石で、收穫前の豫想高より三十三万一千三百五十五石の增加である

これは勞力不足や資材難のほか各地に起つた風水害にも怯まずお百姓が汗の敢鬪を續けた大戰果として感謝しなければならぬところだしかしながら豐作の十七年の實收高より三百三十八万八千七百八十八石（五分八厘）前五ケ年平均よりは六十二万七千三百十八石（一分）の減收である

緬印の二大殲滅戰

敵々一年に亘つて續けられたマウントバツテンのビルマ反攻は二月初旬から開始されたシンゼイワ盆地の英印第五師殲滅の「第二次アラカンの悲劇」に續いて英西阿軍第八十一師に對するカラダン溪谷の追擊戰、北緬チン丘陵に開始された英第十七師主力の包圍戰と相次ぐわが巧妙な先制攻擊によつて白日の夢と化しつゝあるが、敵にとつて最も手痛い打擊はビルマ國內に侵入してゐた英軍の全面的な敗退とそれに續く南部インド國境の脅威である、即ちカラダン河から北上した皇軍は敵の恐怖の的インド國民軍○万を伴つて遙かにベンガルの前線最大基地チツタゴンを脅かし、またテイデイムの東方から迂回包圍した皇軍はアッサム平原を指呼の間に望んで南北相呼應して猛進擊を續けてゐるのである

皇軍、印度を睥睨

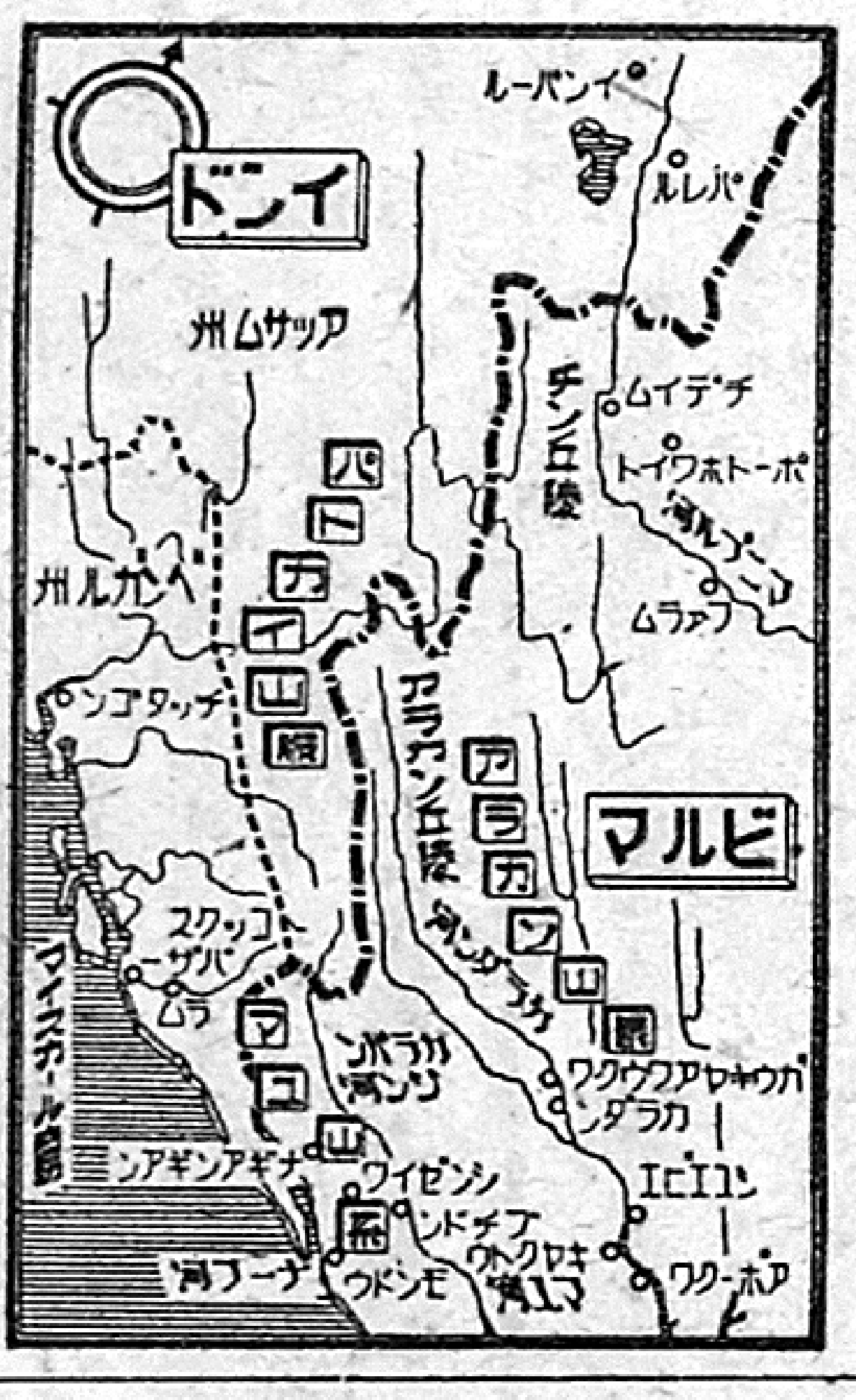
『ベンガル進攻』に敵怯ゆ

南部緬印戰線

ブチドン方面の英印軍第五師の慘めな敗戰に戰いたモンドウ正面の英印軍第五師は火砲と航空機の大量動員によつて我が猛攻を支へるとともにカラダン溪谷付近にご自慢の黑人兵西阿軍第八十一師を南下させてわが側方を衝かうとしたが巧妙なわが作戰に却つて前進航空基地キヤクトウを占領され一氣に西阿軍は追ひまくられてカラダン溪谷を續々と北上退却しつゝあるが、チンヒル、ハカ方面から進む○○部隊は、要衝カラダンを占領した松尾部隊とキヤクトウ西北の二○○高地から北進する小林部隊とインド國民軍と三方相呼應して西阿軍一万を包圍網に壓縮してゐるが、敵も十三日のインド放送で「カラダン地區では既に十二ケ所の要點を日本軍に占領された」とその敗戰ぶりを自白してゐる

中部緬印戰線

チン丘陵に蠢いてゐた東南アジア軍第十七師の主力は二月二十一日一齊に攻擊を開始した皇軍にその虛を衝かれ、マニプル溪谷を迂回進擊した各部隊は山岳地帶を縫つてトンザン東方に迫りインサヤ河上流から進むインド國民軍はハカ、チツタ、ゴン街道の山嶮を突破し十二日トンザン東方の七九五三高地をわが井上部隊の協力のもとに占領、かくて十三日朝來東、南、北からトンザンに對し總攻擊の火蓋を切り、その攻略はもはや時間の問題となつてゐるが、テイデイム、レイトン付近の敵十七師一万はわが鐵環下になすところを知らず狼狽その極に達してゐる、東南アジア軍司令部も十四日の發表で日本軍の進出を認め「チン丘陵では日本軍はマニプル河西方で攻擊を加へ更に北方へ進出した」とつてゐる



敵陣營の狼狽

今また中部、南部緬印で二大殲滅戰を喫しようとする敵はビルマ侵入英軍の殲滅に續いて南部インド國境防衛の重大危機に直面しベンガル灣に沿ふわが作戰行動を極度におそれ、北緬フーコン地區の重慶軍をそゝのかして反攻の機を狙つたが、これも神速な皇軍の一擊に遭つてもろくも敗退し、おまけに印緬支派遣米軍司令官スチルウエルが督戰に來たところを我が砲彈で重傷を負うたと傳へられるなど敵の狼狽ぶりを遺憾なく物語つてゐる、マウントバツテンは最近アッサムのレドでスチルウエルと協議してゐるが會議倒れの敵陣營の混亂ぶりは察するに難くない

英米蔣の離間

緬印國境の敗戰に戰いたのはアメリカで、マウントバツテンの指揮が惡いと一齊に非難の聲を上げ、あはよくば彼を追ひ出して印度における指揮權をまで握らうと惡辣な策謀を續けてゐるため、英でも對抗上種々の敗戰原因をもつともらしく持出して責任のなすり合ひを始めてゐるが、をさまらぬのは重慶軍で米軍司令官スチルウエルに陸軍の指揮權を奪かされ、今度はその宣傳に乘つてフーコンに出擊したところを痛烈な皇軍の一擊を喰ひ、その憤懣は結局米英に向つて行く、かくてインド防衛の危機はますます倍加されてゆく

國民軍颯爽と國境へ進擊

敵側インド兵の寢返り續出

【緬印國境前線○○にて松田、染谷陸軍報道班員十五日發】中部緬印國境ハカ、フアラム方面のインド國民軍は三色旗をチン丘陵に翻しカラダン方面からチツタゴンへと國境目指して力強い進擊を續けてゐる、敵側のインド人部隊は三色旗をみれば兵器を捨てゝ密林中に逃れ或は國民軍に參加して獨立への協力を誓ふなどイギリスを狼狽させてゐる

チツタゴンの敵を脅威

【ビルマ前線○○にて橋本陸軍報道班員十五日發】中部ビルマ國境チン丘陵地帶前面の我が攻擊は引續き順調に進捗、恰も國境地帶の山岳地帶から南部チツタゴンを俯瞰し殊に南部チツタゴン方面の敵四ケ師に無言の脅威を與へてゐる

世界の動き

ドイツに空飛ぶ戰艦

ドイツの空飛ぶ戰艦ブローム・ウント・フオス222型六發長距離哨戒爆擊飛行艇の性能が十四日發表された、胴の全長三十七メートル、翼幅四六メートル、胴は二段に分れ、上は操縱と機關、下は武裝兵士百名を乘せることができ機關銃や小口徑の大砲をもつてゐる＝寫眞は空飛ぶ戰艦（ベルリン發同盟）

米英を出し拔くソ聯

米英が支持する「自由イタリア戰線」をよそに地中海進出を計畫したソ聯が反對派のバドリオ政權を承認したので米英は內心大むくれこれに引かへバドリオは米英も承認するやう要請したと發表した、ドイツでは「共產主義で國や國民を亡ぼさうとしてゐる」と批評してゐる（リスボン發同盟）

バドリオの對芬斷交

バドリオ政權はフインランド駐在の公使館に命令して今後の國交を停止させた、勿論ソ聯へのご機嫌とりである（ベルリン發同盟）

フインランド秘密會

フインランド議會は十四日秘密會を開き、リンコミス首相から政治外交問題を報告したが、議員の論議は次回まで延期された（ヘルシンキ來電＝ベルリン發同盟）

墮落した米國の銃後

ニューヨーク警察署は十六歲以下の少女は午後十時から單獨通行すべからずと告示した、すでに米國內五百余都市も同樣、禁止令を出してゐる、これは道德の低下が原因であるが、喜劇俳優のチヤツプリンもそのため處罰されてゐる＝寫眞はチヤツプリン（リスボン發同盟）

ルーマニアは頑張る

反樞軸側は最近バルカンのルーマニアが米英との和平交涉を計畫し老政治家スチルベイ氏がイスタンブールを經てロンドンに向つたと宣傳してゐるが、十四日ドイツ外務省は「ルーマニアは飽まで頑張つてゐる、そんなことは得意のデマだ」と笑殺した（ベルリン發同盟）

米の新驅逐艦

【リスボン十四日發同盟】シヤトル來電＝米國海軍新驅逐艦ポーター號が十四日シヤトル造船所で進水した、これは一昨年十月廿六日サンタ・クルーズ島沖で日本海軍に擊沈された代艦である

米の名飛行士戰死

【リスボン十四日發同盟】ワシントン來電＝米國陸軍省は十四日陸軍航空部隊中佐リンチが去る八日ニューギニア島上空で日本軍と交戰中戰死したと發表した、リンチは前に北太平洋から南太平洋戰域に移つたが、米陸軍航空部隊の至寶といはれてゐた

五大基地を奇襲

陸鷲、在支米空軍を痛擊

【○○基地十四日發同盟】陸軍航空部隊は十四日未明またも衡陽（湖南省）遂川（江西省）桂林、梧州（廣西省）肇慶（廣東省）の敵五大基地の前進飛行場を連續奇襲し敵軍事施設を爆碎し地上の敵機八機を擊破して敵の日本本土空襲の企圖を粉碎、全機無事歸還した

衡陽　午前一時から二回夜間爆擊を行ひ一機を炎上、施設一棟を爆碎した

遂川　同時刻二回爆擊、滑走路などを爆碎、二機を炎上させた

桂林　三時二十分から反復攻擊を加へ地上の大型機五機を炎上、滑走路を爆碎した

肇慶、梧州　同時刻軍事施設に全彈命中

海南島來襲の四機を擊墜

【海口十五日發特電】十三日午前海南島に敵ノースアメリカンB25爆擊機四機づつが二回にわたり來襲したが、わが戰鬪機隊は直ちに舞ひ上つて交戰、途中でさらにコンソリデーテッドB24五機、カーチスホークP40五機の各編隊と遭遇し支那大陸の上空まで追ひつめてB25一機、P40三機を擊墜した

時局語

國民總蹶起

一億が戰鬪配置について敵擊滅の部署を守ることである、日本民族の總蹶起は元寇に際して文永の役から弘安の役までの七年間、北條時宗を指導者として行はれた、この戰爭は國民が上下一致して旺盛な尙武の精神を發揮し最後に神風といふ天佑によつて勝ち拔くことができたのであるが、今回の總蹶起運動は國難の深刻さにおいて元寇の比ではなくいまや敵が短期決戰を焦つてゐるこの好機を捉へて三千年來養ひ來つた日本民族の忠誠强烈な底力を最高度に發揮して敵に止めの打擊を與へようとするもので、運動の目標を戰意の昂揚、生產の增强、食糧の確保、國土の防衛の四つにおいてゐる、いま次々と實施してゐる十五項目の決戰非常措置も畢竟この四つの貫徹に結び付いたもので、總蹶起が一刻も遲れることを許さないのはこれがためである

かぜに
橋本七度煎
全國藥店ニアリ
愛知縣・內海町
愛知縣第一製藥株式會社

筆陣

生產戰線から相次いで傳はる美談佳話の一つに、石產精工○○○工場の工員高松、長岡兩君の運轉作業九十七時間といふのがある。特殊重要工作機械が故障を起し、工場全體の作業能率に重大な支障を來さうとした時、兩君はまる四日余、一睡もせず、その修理作業を完遂したのである。

× ×

大和魂と謳はれ、武士道と呼ばれ、時に天地正大氣と喝へられる日本精神は、軍陣においては世界無比の軍人精神となり、海上輸送に當つては海員魂となり、銃後農村にあつては農民魂となり、そして生產戰の職場においては工員魂となる。

× ×

こゝに、連續作業九十七時間の記錄も生れ、その他いかなる障害、いかなる險路も克服する生產攻略が期待されるのである。この偉大な精神こそたゞ物の量と機械力を恃む敵を壓する無限の力であることを信じて、ひたぶるに精魂を打込まう。